



鳩巢

足近小学校だより 平成30年2月28日

足近小学校の教育目標

なかよく かしく たくましく

— 気づき、考え、行動できる子 —

近づく春

平昌オリンピックの閉幕と共に、2月も終わりを迎えます。競技だけでなく、選手の行動や言葉に心動かされる毎日でした。子供達もオリンピックについて連日、熱く語り合っていました。

今年度も残すところ17日（6年生は16日）です。近づく春に向かって、全てのことを〇（マル）にすることができるよう、残りの日々を過ごしています。今年度もあとわずかになりましたが、どうぞ宜しくお願いします。

「プログラミング」について考える

2月20日（火）に羽島市教育委員会主催の「プログラミング教室」が本校にて開催されました。2020年から始まる小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、本校5年生の子供達と市内の教員とで楽しく学ぶことができました。

プログラミング教育とは、「時代を超えて普遍的に求められる力としての『プログラミング的思考』（自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力）などを育成するもの」とあります。

単なるコンピューターの学習だけでなく、教科の知識の発展として各教科においてどのようなプログラミングができるのかを、今後さらに考えていきたいと思えます。



コミュニティ・スクールの窓から

第3回足近小学校 学校運営協議会が2月15日（木）本校にて開催されました。「6年生を送る会」での子供達の様子を見ていただいた後、今年度の学校運営や活動について振り返るとともに、来年度の活動についても協議を行ないました。地域のお力添えあつての学校です。今年度も本当にありがとうございました。

学校運営協議会委員の方からのご意見

- ・「6年生を送る会」は素晴らしい会だった。6年生には足近小に誇りをもち、旅立ってほしい。
- ・自分たちで考え、活動する姿は胸に迫るものがあった。保育園、学校での指導の積み重ねが分かった。
- ・「ふれあい給食（5年生と独居老人の方とのふれあい活動）」や「たてわり活動（異年齢集団活動）」など、この一年、子供達の思いやりの心を多く感じる事ができた。
- ・足近は、自治会や老人会など組織がしっかりとしている。今後も地域は学校をサポートし、地域と学校が一体となって活動していきたい。

※3月2日（金）は、今年度最後の授業参観と懇談会を行います。ご多用とは存じますが、どうぞよろしくお願い致します。なお13:20よりPTA常任委員会（今年度役員の方）を図工室で行いますのでよろしくお願い致します。今年度PTA役員の皆様方、本当にありがとうございました。